

海にみらいを求めて

観測船みらい？

潮流発電？

海のエネルギー創出？

AR500なるミライ？

地球環境制御？

みらいのエネルギーを一緒に考えてみませんか

プログラム

第一部 講演（13:15～15:10）

- 海と地球環境 本多 牧生（海洋研究開発機構）
- 潮流発電の実証事業 山本 弘子（九電みらいエナジー）
- パネルディスカッション

第二部 体験（15:30～16:25）

- 海中をVR体験する
- デジタル地球儀で気候変動を考える
- スケール模型で潮流発電を知る
- ビデオ上映

日時

令和6年3月10日 日
13:15 ~ 16:25

場所

記念艦「三笠」講堂

〒238-0003 横須賀市稲岡町82-19
【京急横須賀中央駅】より徒歩15分、三笠
循環バスで三笠公園バス停下車徒歩2分



事前申込：参加費無料
誰でも参加できます！

事前申込が無い場合は、入艦
券の購入が必要となります。

申込方法

ウェブサイトからお申し込みください。⇒



©2024 Kyuden Mirai Energy Co. Inc. (不許複製・禁無断転載)



主催：公益社団法人 日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会
後援：横須賀市、横須賀市教育委員会
協力：よこすか市民会議（YCC）、公益財団法人三笠保存会



第89回海洋教育フォーラム 「海にみらいを求めて」

地球温暖化に伴う気候変動は、ここ横須賀でも感じられます。ブルーカーボンなど海への二酸化炭素除去がクローズアップされた昨年末の国連気候変動枠組条約第28回締約国会議(COP28)では、2030年までに再生可能エネルギーの発電容量を3倍にすることが約束されました。九電みらいエナジー社は日本の地勢にあった再生可能エネルギーの発電手法として潮流発電にいち早く取り組み、2021年に長崎県五島列島奈留瀬戸において国内初の大規模潮流発電機の実証を成功させました。

第一部では、JAMSTECの本多研究員が海の持つ地球環境制御能力について、九電みらいエナジー社山本氏から同社が実施した潮流発電実証の成果をそれぞれご紹介頂きます。

第二部では、「VRで見る海中」、「デジタル地球儀での気候変動」、「12分の1の潮流発電機模型」、等展示物に実際に触れて頂きながら、質疑応答、意見交換をしていきます。

※「海洋教育フォーラム」は、日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会が、小中高生・教員・一般の方々に、海にもっと馴染んでもらおうと、平成20年から全国各地で始めた講演会です。

F A X 申 込 書

送付先：防衛大学校 機械事務室（海洋工学研究室）

FAX番号：046-844-5900

※FAX申込みでは定員オーバーした場合のみ電話連絡致します。

申込日：令和 6 年 月 日

氏名	ふりがな：	年 齢
	(グループの場合は代表者をご記入ください。)	歳
連絡先	Eメールアドレス：	
	電話： (携帯電話可)	FAX：

グループで参加する場合は他の参加者を下欄にご記入ください。

氏名	年 齢	氏名	年 齢
	歳		歳
	歳		歳

※応募者の個人情報本フォーラム・シンポジウムに関する目的以外には使用いたしません。

【問い合わせ】第82回海洋教育フォーラム事務局代表 木原 一

〒236-8686 横須賀市走水1-10-20 防衛大学校 機械システム工学科

Tel: 046-841-3810 (内線3450) E-mail: hkihara@nda.ac.jp

海にみらいを求めて

潮流発電？ 観測船みらい？ 海のエネルギー創出？
AR500なるミライ？ 地球環境制御？

みらいのエネルギーを一緒に考えてみませんか

プログラム

第一部 講演（13:15～15:10）

- 海と地球環境 本多 牧生（海洋研究開発機構）
- 潮流発電の実証事業 山本 弘子（九電みらいエナジー）
- パネルディスカッション

第二部 体験（15:30～16:25）

- 海中をVR体験する
- デジタル地球儀で気候変動を考える
- スケール模型で潮流発電を知る
- ビデオ上映

日時

令和6年 3月10日 日
13:15 ~ 16:25

場所

記念艦「三笠」講堂

〒238-0003 横須賀市稲岡町32-19
【京急横須賀中央駅】より徒歩15分、三笠
循環バスで三笠公園バス停下車徒歩2分



事前申込：参加費無料
誰でも参加できます！

事前申込が無い場合は、入艦券
の購入が必要となります。

申込方法

ウェブサイトからお申し込みください。⇒



©2024 Kyuden Mirai Energy Co. Inc. (不許複製・禁無断転載)

第89回海洋教育フォーラム 参加者募集

地球温暖化に伴う気候変動は、ここ横須賀でも感じられます。ブルーカーボンなど海への二酸化炭素除去がクローズアップされた昨年末の国連気候変動枠組条約第28回締約国会議(COP28)では、2030年までに再生可能エネルギーの発電容量を3倍にすることが約束されました。九電みらいエナジー社は日本の地勢にあった再生可能エネルギーの発電手法として潮流発電にいち早く取り組み、2021年に長崎県五島列島奈留瀬戸において国内初の大規模潮流発電機の実証を成功させました。

第一部では、JAMSTECの本多研究員が海の持つ地球環境制御能力について、九電みらいエナジー社山本氏から同社が実施した潮流発電実証の成果をそれぞれご紹介頂きます。

第二部では、「VRで見る海中」、「デジタル地球儀での気候変動」、「12分の1の潮流発電機模型」、等展示物に実際に触れて頂きながら、質疑応答、意見交換をしていきます。

※「海洋教育フォーラム」は、日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会が、小中高生・教員・一般の方々に、海にもっと馴染んでもらおうと、平成20年から全国各地で始めた講演会です。



主催：公益社団法人 日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会
後援：横須賀市、横須賀市教育委員会
協力：よこすか市民会議（YCC）、公益財団法人三笠保存会

